

## 祝 辞

文部科学大臣 盛山正仁 様  
(代読 文部科学省研究振興局長 塩見みづ枝 様)

本日ここに、公益財団法人東レ科学振興会の令和5年度贈呈式が挙行されるに当たり、一言御挨拶申し上げます。

この度、東レ科学技術賞、東レ科学技術研究助成並びに東レ理科教育賞を受けられた皆様、誠におめでとうございます。皆様の深い探究心と強い意欲から生まれた独創的・先駆的な研究や、創意と工夫による教育方法が、厳正な審査の結果、極めて高い評価を得て選ばれたと伺っております。

今回の受賞を契機として、今後も皆様の研究、或いは教育の取組が一層進展し、我が国の学術研究、理科教育の振興に大きく貢献されることを期待いたします。

公益財団法人東レ科学振興会は、昭和35年に設立されて以来、長年にわたり、優れた業績を上げられた研究者や、著しい教育効果を上げられた先生方を顕彰するとともに、今後の研究の進展が期待される若手研究者を対象に、積極的な助成を行ってこられました。こうした継続的な取組は、高い志をもって自身の課題に挑戦する研究者を後押しするとともに、次代を担う研究者の夢と希望を育み、我が国の研究水準の向上に大きな役割を果たすものであります。貴財団の長年にわたる功績に対し、心から敬意を表しますとともに、今後も優れた研究活動への助成と人材の育成に積極的に取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

「人」を育み、「人」の英知や創造力を最大限引き出すことは、我が国の成長の源泉となり、国民の皆様の生活を幸福で豊かなものにするにつながります。

文部科学省といたしましても、理科教育の充実や文理横断・探索的教育の一層の充実を図るとともに、科研費などの競争的研究費や基盤的経費による支援等を通じて、基礎研究・学術研究の充実に引き続き努めてまいります。

結びに、日覺昭廣会長をはじめ、関係の皆様のこれまでの御尽力に深く敬意を表し、貴財団の更なる発展を祈念いたしますとともに、本日各賞並びに研究助成を受けられた皆様に改めてお喜びを申し上げまして、お祝いの言葉といたします。